



Do what matters



Imagine what you will do with AI

If artificial intelligence was your intelligence



生成 AI が職場にもたらす ヒューマン インパクト



Getting ready for AI...

Microsoft Copilot for Microsoft 365 が、創造性、コミュニケーション、信頼性、帰属意識など、職場における人の行動や感情に与える影響について、アバナードの独自調査を紹介



生成 AI が 従業員エクスペリエンスに 与える影響とは

生産性の強化や競争力のある差別化の推進を目指して、ここ1年半の間に、急激な勢いで生成 AI ツールが業務のあらゆる側面に取り入れられてきました。

生成 AI が多くの人の働き方を新しく、変革的な方向へと導いたことは明らかですが、このような急速な導入が、職場における人の行動や感情に対して、どのような影響を与えるのかについては、今はまだ把握しきれいていません。

そこでアバナードは、早期導入におけるパイオニアとして、Copilot for Microsoft 365（以下、Copilot for M365）が与える影響について、社内の様々な職種を対象に調査を実施しました。7週間にわたる本調査では、創造性への動機付け、コミュニケーションの効率化、信頼性の強化、仕事の満足度、帰属意識

の向上など、生成 AI がもたらすあらゆる影響について、人間的な視点から詳しく調べています。

調査結果は、「従業員ファーストによる生成 AI 導入アプローチで、真のヒューマンインパクトを与える」という、アバナードの目標に適うものとなりました。Copilot for M365 は、電源を入れればいいだけのテクノロジーではなく、使用者の目的と課題を理解することで、よりスムーズな導入支援につなげていくものです。

アバナードでは、Copilot for M365 を深く理解することで、従業員のニーズを満たし、お客様に必要な情報を提供し、生成 AI の精度向上に関する議論を拡げて、貴重な知見をもたらし戦略を策定しています。

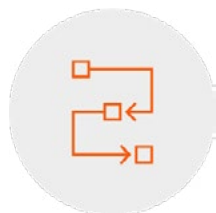
多くの企業が、テクノロジーの進歩と人を中心とした職場環境のバランスを模索する中で、本調査は、Copilot for M365 のようなツールを活用して、人の価値や可能性を再定義し、強化するための方向性を明確に示すものとなるでしょう。

エグゼクティブ サマリー

主な所見

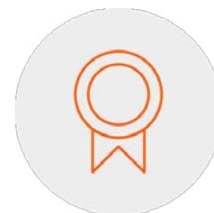
提案事項

次のステップ



創造性の体系化

Copilot for M365 により、創造性の体系化、アイデアの共有、問題解決能力は強化されたものの、自発的で独創性のある思考が抑制されている可能性がうかがえます。



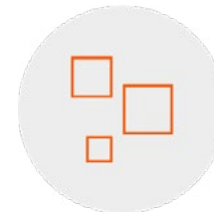
達成感

従業員の 85%が、Copilot for M365 の導入後に、仕事の達成感が向上したと回答し、調査開始時より 3%の上昇が見られました。



コミュニケーションにおける警戒心

従業員の 72% が、Copilot for M365 による文字起こしに警戒心を抱き、会議での発言により慎重になったと回答しました。しかし、調査終了時には、従業員の 45% で不安が緩和されており、ツールに慣れたことで、当初の懸念が軽減された可能性がうかがえます。



帰属意識

帰属意識を測る指標の多くで、Copilot for M365 の導入後も変化は見られませんでした。組織とのつながりが 2%減少しました。



価値観の一致性

従業員の 88%が、Copilot for M365 は企業の価値観と一致していると回答したものの、個人の価値観と一致していると回答した従業員はわずか 65% でした。



組織市民行動

組織市民行動は 86%まで向上しました。Copilot for M365 により、組織全体の健全性とパフォーマンスが、わずかながらも改善することが示されています。



調査方法

アバナードでは、Microsoft Copilot for Microsoft 365（以下、Copilot for M365）が従業員に与える影響を、明確かつ定量的に把握するために、一連の調査を体系的に実施しました。

マイクロソフトによる Copilot for M365 のアーリー アクセス プログラムに参加した期間中、複数のグループを対象とした調査を実施し、従業員が Copilot for M365 に持った印象を記録しました。

グループ 0:

20 人未満

初期印象の収集、
ツールとその使い方を
検証

グループ 1:

200 人未満

Copilot for M365 の
実現可能性、実行可能
性、適性を測定

グループ 2 以降:

400 人未満

プロンプト作成トレーニングの効果
測定、ニューロダイバーシティ（神
経多様性）に関する研究など、特定
のユーザー グループや業界向けの
ユース ケースについての理解を強化

調査開始時に、Copilot for M365 導入以前の従業員エクスペリエンスや姿勢を確認する調査を行い、その 7 週間後に 2 回目の調査を実施することで、Copilot for M365 導入後の従業員エクスペリエンスの変化を明らかにしました。また、これらの調査に加え、フォーカス グループ、ワークショップ、観察調査も実施し、定性的な所見も盛り込みました。

本書に関連して収集した統計データとアバナードの観察結果に相関関係はあるものの、因果関係はありません。アバナード独自の専門知識と Copilot for M365 を利用してきた経験に基づき、それらの所見を参考に結論を導きました。

調査参加者

本調査には、アバナードの社内から、様々な従業員が参加しました。所属部門や職務階級は幅広く、法務、財務、人事、マーケティング、営業、役員など、多岐にわたるとともに、参加者の Copilot for M365 への知識レベルも様々でした。

アバナードで 従業員エクスペリエンスを強化

従業員のための「今すべき大切なこと」を実践するために、今こそ、生成 AI をどのように活用できるかについて理解を深めるときです。アバナードの支援アプローチをぜひご覧ください。



[今すぐ始める](#)

生成 AI が与える、 仕事におけるヒューマン エクスペリエンスの 変化とは？

Copilot for M365のアーリー アダプターとして、アバナードは2つの目標を掲げました。1つは、本テクノロジーの潜在能力を社内で活用すること、もう1つは導入の影響を調査して、それに基づく見解を業界に提供することです。

本調査では、生成 AI がヒューマン エクスペリエンスに与える影響について、業務に重要な6つの領域で明らかにすることを目的とし、Copilot for M365 がもたらす以下の影響について検証しました。

- 創造性やイノベーションへの支援
- コミュニケーションの効率化
- 従業員からの信頼獲得
- 仕事の満足度と幸福感の構築
- 帰属意識の強化
- 組織市民行動の育成



Copilot for M365 は 創造性や イノベーションをどの ように広げるか？

職場において創造性とは、製品、サービス、工程、手順に関して、斬新で有用なアイデアを生み出すことと定義されています。イノベーションとは、パフォーマンスの強化を目指して、こういった創造性に富んだアイデアを、実用的なソリューションへと落とし込むことです。

Copilot for M365 と創造性、 イノベーション

Copilot for M365 は、新しいアイデアを分かりやすく表現して、実現に導くほか、革新的なソリューションを検討する際のプロセスをシンプルにできるようサポートします。また、事務作業の自動化により、従業員はより多くの時間を戦略的思考に割けるようになります。

「Copilotの提案を見てから、状況に合わせて修正、改善を入れ、仕上げていきます。Copilotのアイデアをたたき台にして、創造性が強化されています」

- 調査参加者

主な所見

職場における創造性に新たな変化が見受けられました。



アイデアの創出

- 新しい働き方を支持する従業員の割合が、80%から89%に増加しました。
- 独創的な思考が求められる作業を希望する従業員の割合が、わずかに減少しました。



課題の克服

- わずかですが、特筆すべき点として、通常業務において課題を克服する能力が向上したと考える割合が上昇しました。
- Copilot for M365 が異なる視点から提案することで、課題が解決しやすくなっている可能性がうかがえます。日常的使用で、問題解決能力が40%上昇しました。



アイデアに関するコミュニケーション

Copilot for M365 により、アイデアに関するコミュニケーションが活発になりました。従業員のアイデアを分かりやすく表現し、提案をサポートしていることが示されています。



アイデア創出のためのスケジュールを導入

アイデア創出において、持続可能な計画法、スケジューリングが5%向上したとの回答により、Copilot for M365 が体系的なアイデア創出を支援できることが示されています。



イノベーションの成果

- 全体としてイノベーションの件数が増加しており、Copilot for M365 により、実践的で創造性に富んだアイデアが、より多く創出されていることを示しています。
- これは、アイデア創出から実用化までのイノベーションサイクルにおいて、最終段階が改善されていることを示しています。



アイデアの探索

他の業務への関心は一貫して良い反応を示しており、Copilot for M365 の導入前後において、共に高い関心度を維持していました。

まとめ

アバナードの創造性やイノベーションに関する評価

Copilot for M365 の導入により、アバナード社内における創造性やイノベーションに関するスコアは全体として2% 上昇し、最終スコアは82% となりました。

わずかな上昇ではあるものの、Copilot for M365 がイノベーションを広く生みだすきっかけとなることがわかりました。本ツールを日常的に利用する従業員が「職場における創造性が 70% ほど向上した気がする」と回答した事実も、この見解を裏付けています。

Copilot for M365 により、イノベーションの体系化、アイデアの共有、職場における課題克服能力の向上が見受けられますが、一方では、自発的な独創性のある思考が抑制される可能性がうかがえます。アイデア創出においては、Copilot for M365 に過度に依存することで、独創的な思考が求められる作業において、意欲が低下する可能性もうかがえました。

今回の調査所見から、これらの業務で極めて重要となる創造性を育成、維持するためには、継続的にトレーニングを実施する必要があると言えるでしょう。これにより、自動化による効率性と人間的な創意工夫のバランスが保たれ、革新的かつ成長を促す職場文化を築くことができます。

アバナードではゲーミフィケーションを取り入れ、様々なタスクを通じて、Copilot for M365 を使いこなした証となる「認定メダル」を獲得できるよう支援してしています。これにより、導入直後は不安に感じていた従業員も、同僚からインスピレーションを得ることで活用につながっています。

Copilot for M365 は 職場全体で 風通しのよい コミュニケーションを 促進できるか？

コミュニケーションとは、情報交換を行い、その内容が組織内で理解されることを想定する手段であり、組織を効率的かつ効果的に運営するために不可欠なものです。

Copilot for M365 と コミュニケーション

コミュニケーションとは、情報交換を行い、その内容が組織内で理解されることを想定する手段であり、組織を効率的かつ効果的に運営するために不可欠なものです。

「以前は、みな同じように作業を進めていると思っていました。Copilotを使用して始めて、新しいコミュニケーションの方法を知り、作業を効率化することができました」

- 調査参加者

主な所見

下記のようなコミュニケーションの傾向が明らかになりました。



同僚とのコミュニケーション

- 導入前は、Copilot for M365 による社内のコミュニケーションの明確化と効率化が期待されており、従業員の73%がそれに同意していました。
- しかし、7週間後の調査では、同意する従業員の割合は70%まで低下しました。従業員が本ツールの機能に慣れた結果、期待が薄れたものとみられます。



コミュニケーションにおける警戒心

- 調査開始時点では、従業員の72%が Copilot for M365 による文字起こしに警戒心を抱き、会議でのコミュニケーションに対してより慎重になったと回答しました。
- しかし6週間後には、従業員の45%が、コミュニケーションへの警戒心が軽減したと回答しています。Copilot for M365 が習慣化することで、コミュニケーションがよりオープンになることを示しています。
- Copilot for M365 による文字起こしへの警戒心は、全体として10%下がっており、この領域における懸念は、時間の経過により払拭されることを示しています。



情報の流れ

- チーム内の情報の流れを測るスコアでは、調査開始時点で74%であったところ、7週間後には5%減少し、69%となりました。
- 従業員が Copilot for M365 の情報管理機能に慣れるまでに時間がかかる可能性がうかがえます。

まとめ

アバナードのコミュニケーションに関する評価

調査期間中のコミュニケーション スコアは、警戒心のスコアを除き、全体として 3%減少しました。このように、わずかな減少幅は、生成 AI をベースとしたコミュニケーション ツールの導入が、職場のコミュニケーションに大きな影響を与えないことを示しています。

コミュニケーションにおける警戒心のスコアは、調査期間中に 17% 減少しました。このことは、Copilot for M365 により、会話が文字で起こされるという、当初にあった従業員の警戒心が軽減されたことを示しています。

この結果は、コミュニケーションに対する慎重な姿勢が、自然にオープンなものへと変化することを示しています。このことは、従業員の 26% がプロンプト作成のトレーニング後に自信をつけたことからもうかがえるとおり、全体的な所見と一致しています。この観察調査によると、Copilot for M365 を導入する際は、変更管理、情報の伝達、オンボーディングのプロセスを戦略的に進めることで、導入期間を短縮できる可能性が示されています。

Copilot for M365 は企業の信頼獲得に役立つか？

信頼性とは、システムや組織に力を与えても良いかどうかを判断する際に求められる、一連の資質のことを指します。

Copilot for M365 と信頼

調査対象者は、Copilot for M365 の提案について、丁寧で好ましく、公正であること認識していますが、長期的な面では、見落としや説明責任について懸念を抱いています。

「Copilot for M365 の使用には、慎重になることが極めて重要です。作業の効率化には有効ですが、成果を完全に信用する前に、まず検証しなければなりません。精度を保つには、結果を必ず確認し、責任を持つ必要があります」

- 調査参加者

主な所見

信頼性に関して細かく綿密なパターンが明らかになりました。



価値観の一致性

- ・従業員の 88% が、Copilot for M365 は企業の価値観と一致していると回答しており、倫理的な方向性が信頼されていることを示しています。
- ・従業員の 65% が、Copilot for M365 は個人的な価値観と一致していると回答しました。



パフォーマンスへの期待値

Copilot for M365 の業務支援能力は高く評価されており、満足度は 75% でした。



理解と透明性

- ・ユーザーが安心して Copilot for M365 を使用するためには、プロセスを理解することが不可欠です。
- ・ユーザーは、Copilot for M365 の透明性を 78% と評価しており、意思決定プロセスへの理解が未だ不十分であることが示されています。



説明責任

説明責任に関する平均スコアは 65% でした。これはユーザーが、ガバナンスについて、未だ改善する余地が大いにあると感じていることを示しています。

まとめ

アバナードの信頼性に関する評価

Copilot for M365 は、企業の価値観とよく一致しており、業務を支援できる能力を備えているとして概ね信頼を得ています。導入にあたり、大きな課題となっていた、信頼性に関するスコアが大幅に低下する可能性については、全体として低下が2%にとどまっていることから、心強い結果となっています。しかし、ユーザー個人の価値観との一致性については、未だ改善の余地があるようです。

アバナードでは、従業員一人一人に合わせた学習プログラムを展開しており、生成 AI を活用して、責任を持って業務を遂行し、イノベーションを推進できるよう支援しています。デジタル ワークフローにおいて、Copilot for M365 が標準装備となっていくなかで、その信頼性を維持、強化していくには、ユーザーとともに本ツールも成長していくことに加え、技術的な機能だけでなく、透明性や説明責任も共に提供できるかどうかにかかっています。従業員の86%が、Copilot for M365 はエラーやミスを発生させることもあるが、価値のあるツールであると感じている事実が、これを裏付けています。

信頼性スコアにおいて、全体的に低下が見られたことについては、行動をとるべきときのサインとして捉えるものであり、生成 AI システムの信頼性を最適化するには、継続的な取り組みが不可欠であることが強調されています。信頼性の基盤を確立することで、Copilot for M365 のような生成 AI ツールの導入を成功へと導き、責任ある AI の活用で、人であることの強みを活かせる職場づくりを実現するものとなるでしょう。

Copilot for M365 が 仕事の満足度を 強化するために できることは？

仕事の満足度とは、個人の仕事、もしくは仕事体験から得られる、ポジティブな心の状態のことを指します。

Copilot for M365 と仕事の満足度

Copilot for M365 がワークフローや作業を効率化することは、労働者の達成感を強化するための支えとなります。また、事務作業を軽減することもできるため、従業員は余った時間を、学習やコラボレーションに活用できるほか、戦略的かつ創造的な、新しいタスクに挑戦するための余裕を生みだします。

「AIに仕事を奪われるのではないかと不安でしたが、支援してくれるのだという気持ちに変わりました。Copilotは、仕事を奪うのではなく、能力を強化してくれています」

- 調査参加者

主な所見

仕事の満足度に与えるCopilot for M365の影響について、重要なインサイトが明らかになりました。



スキルや興味との一致性

- 従業員の78%が、自分の日常業務は、Copilot for M365 の導入前後にも変わらず、自身のスキルや興味に合っていると回答しました。
- このことは、Copilot for M365 が従業員の強みや得意分野の支援に役立つことを示しています。



チームの団結力と支援体制

調査参加者は、チームの協力体制を90%と評価しました。7週間の調査期間中、このスコアは安定しており、Copilot for M365 の導入は、従業員が協力し合うために必要な能力に影響を与えないことを示しています。



達成感

- Copilot for M365 を導入後、従業員の84%が仕事の達成感を感じると回答しました(調査開始時から2%増)。
- このことは、本ツールにより、従業員が業務を達成した際に得られる満足度が強化されたことを示しています。



仕事への意欲と動機付け

従業員の80%が、調査開始時も7週目の時点でも、仕事への意欲は高いと回答しました。このことは、Copilot for M365 が仕事への意欲となる側面を削ぐことなく、日常業務にうまく取り入れられていることを示しています。

まとめ

アバナードの仕事の満足度に関する評価

仕事の満足度は、全体として 85% という高い水準を維持しています。このことは Copilot for M365 が職場環境にスムーズに適合し、仕事での充実感を削ぐことなく、既存のプロセスを補完できていることを示しています。強力なチーム ダイナミクスと支援体制が保たれていることも、本ツールが協力的な職場文化と調和していることを裏付けています。

仕事の満足度に変化が見られないということは、本ツールが従業員のエンゲージメントやサポート ネットワークに悪影響を及ぼすことなく、職場での活動を強化できていることを示しています。テクノロジーを強力な味方にして、プロフェッショナルとしての成長と満足度を追求できる職場を築くには、このバランスが極めて重要になります。

Copilot for M365 で 帰属意識を 構築しやすくすることが できるのか？

帰属意識とは、集団や組織の一員であるという個人の主観的な感覚です。チームのコラボレーションや仕事上で得られたサポートが、個人にとってどのような経験につながっているかということに、密接に関連しています。

Copilot for M365 と帰属意識

Copilot for M365 は、プロセスを合理化することでコラボレーションをサポートできる一方、技術的な効率性の強化とチームダイナミクスの育成を実践するうえで、バランスを崩す可能性もあります。

「Copilot for M365は、社内のスムーズな連携に役立っています。重要な文書にも簡単にアクセスして更新できるほか、持続可能な取り組みを収集することもできます」

- 調査参加者

主な所見

帰属意識については、複雑ですが安定した状態であることが明らかになりました。



チーム内の仲間意識

チーム内の仲間意識とサポート体制を測るスコアは2%減少し、最終的なスコアは84%でした。



同僚との連携

Copilot for M365を導入後、同僚と連携できていると回答した従業員の割合が83%となり、わずかですが2%の減少となりましたが、人間関係や一体感は概ね維持されることを示しています。



社内のつながり

Copilot for M365を導入後、社内のつながりは2%減少し、最終的なスコアは83%でした。

まとめ

アバナードの帰属意識に関する評価

Copilot for M365 を導入後、帰属意識とチーム コラボレーションを測るスコアの平均値は2% 減少しました。しかし、こういった感情や感覚に影響を与える要因は無数にあることを考慮すると、このわずかな減少幅は、Copilot for M365 が職場の人間関係に多大な影響を与えることはないことを示していると言えるでしょう。これは重要かつプラスの兆候であり、本ツールを導入しても、従業員間におけるチームの結束力や強固な帰属意識は、維持されると考えることができます。

Copilot for M365 のような生成 AI ツールを職場に導入する企業は増え続けていますが、従業員関係におけるダイナミクスに影響を与える要因は多数あり、テクノロジーは、そのうちの1 つに過ぎないということを認識しておくことが重要です。チームの協力体制や帰属意識を強化するには、テクノロジーだけでなく、リーダーシップ、企業文化、個人のエンゲージメントに関する戦略も含めた、多面的な取り組みが不可欠です。Copilot for M365 の提供を一部の従業員のみに限定する組織では、デジタル格差への リスクを軽減するために、特に注意を払う必要もあるでしょう。アバナードでは、従業員の興味を引くようなエクスペリエンスを 厳選して、必要なリソースやコミュニケーションを的確に行い、人を中心とした導入アプローチを構築することで、個々の従業員がツールに慣れるまでの過程をサポートする方法に辿り着きました。

Copilot for M365は 組織市民行動に どのような 影響を及ぼして いるのか？

組織市民行動とは、個人の独自の裁量で取られるプラスの行動のことであり、正式な報酬制度で、直接的、または明示的に評価されるものではありません。しかし、こういった行動を集合的に見ることで、組織の機能を、効率的かつ効果的に促進するものであることがわかります。

Copilot for M365 と組織市民行動

Copilot for M365 は、ユーザーに代わってタスクを代行し、意思決定に必要な情報を収集することで、ユーザーのストレス管理、整理整頓、意思決定といった、自己管理に必要な行動をサポートすることができます。

「Copilot for M365に会議の文字起こしやタスク管理を任せることで、ワークフローの慢性的な課題を解消し、リソースを他に使えるようになりました」

- 調査参加者

主な所見

組織市民行動の領域で次の傾向が明らかになりました。



誠実性と自己管理能力

- ・ 誠実性と自己管理能力を測るスコアが、わずかですが 1%上昇し、最終的なスコアは 86%となりました。
- ・ この成長は、Copilot for M365 と連携する組織支援ツールによる可能性がうかがえます。



社会人としての責任とバーチャルでの関わり方

組織の一員としての責任とエンゲージメントを測るスコアは 85%で安定しており、従業員は社内情報を常に把握し、積極的に関わることのできる環境が維持されていることを示しています。



技術的な適応性

技術的な適応性のスコアは、85%から 87%と、わずかに上昇しました。これは、Copilot for M365 により、技術スキルや新たなツールの導入がサポート、または強化されている可能性がうかがえます。



他者へのサポートと柔軟性

同僚の労働時間帯やスケジュール感の尊重、配慮を測るスコアは、86%と安定しており、変化は見られませんでした。



思いやりとマナー

思いやりとマナーを測るスコアは、88%と安定的で変化は見られず、Copilot for M365 により、組織の協力的な姿勢や親切心が損なわれていないことを示しています。

まとめ

アバナードの組織市民行動に関する評価

組織市民行動のスコアはわずかに上昇し、86%となりました。組織市民行動は自発的なものであるため、直接的に促すことはできないものの、Copilot for M365のようなツールで影響を与えることができるとわかり、貴重な所見となりました。このことは、慎重な導入と継続的なサポートを提供することで、革新的な技術が、組織にとって重要な自発的行動を補完し、組織全体の健全性やパフォーマンスの強化を促進できることを示しています。

特に、技術的な適応性が上昇傾向にあることは注目に値します。このことは、新たなツールを導入する際に、Copilot for M365で従業員をサポートできることを示しています。急速に進化するテクノロジー環境のなかでは、新しいツールに適応する能力は極めて重要なスキルとなります。

Copilot for M365 の導入に向けた 推奨事項

Copilot for M365 がもたらすポジティブなヒューマン インパクトを最大化するために、
アバナードの調査に基づき、企業が実践すべき 4 つの行動を特定

1

生成 AI を仲間として 受け入れる

Copilot for M365 は、人間の創意工夫を代替するものではなく、業務を補完し、効率を高めるための強力な味方として取り入れましょう。サポート役として業務を改善し、効率性を強化して、ビジネスへの取り組みをより良く、より優れた成果へと導いてくれるでしょう。また、チームの創造性、イノベーション、仕事の満足度も強化してくれます。

2

オープンな職場の基盤を築く

生成 AI ツールを効果的に取り入れるためには、信頼性に基づくオープンなコミュニケーションの基盤が不可欠です。人、プロセス、テクノロジーのすべてを含むフレームワークを構築し、責任ある AI の利用を運用ガバナンスに組み込みます。組織の価値観に合ったツールを選択し、使用時やその方法についてガイドラインを定めて、ツールの欠点、長所、偏向に対処できる率直な企業文化を育成します。常に高い透明性を維持するためには、意思決定、コンテンツ作成、文字起こしなどに生成 AI ツールを使用する際には、それを明示するようにしましょう。

3

トレーニングとサポートを 提供する

既存のアプローチに変更を加える必要性はあるものの、適切なトレーニングやサポートを提供することで、Copilot for M365 は職場で歓迎されるべきツールとなるでしょう。従業員も、トレーニングやサポートを受けることで、生成 AI ツールをより快適に使用し、よりスムーズにメリットを実感できるようになります。Copilot for M365 の導入により、改善が見込めるところではあるものの、このアプローチは、コミュニケーションのような領域では特に重要となるため、まずは従業員に慣れてもらい、テクノロジーに信頼感を持ってもらう必要があります。

4

職場における 既存のダイナミクスを忘れない

組織に変化をもたらすための取り組みでは、テクノロジーは複雑に絡み合うダイナミクスの一要因にすぎないことを忘れずにいましょう。Copilot for M365 のような新しいテクノロジーを導入する場合は、リーダーシップ、企業文化、従業員エンゲージメントなど、他の領域でのベスト プラクティスにも目を向ける必要があります。



Copilot for M365 で職場における人間らしさを強化

Copilot for M365 を適切に導入すれば、仕事に必要な人間らしさを強化することができます。アバナードはアーリー アダプターとして、オンボーディングからリアルタイムのサポートまでを含むツールの導入時に、様々な変更管理の手法を組み込むことで、従業員のエンゲージメントを素早く強化できることを経験してきました。これにより、創造性、イノベーション、仕事の満足度にも改善が見られています。信頼性を育み、Copilot for M365 がもたらすコミュニケーションの明瞭化、効率化を最大限に引き出すことで、潜在するマイナスの成果を最小限に抑えることもわかっています。

次はお客様の番です。アバナードが誇るマイクロソフトに関する深い専門知識、実績ある方法、アドバイザリーを組み合わせ、お望みの形で組織を変革できるよう支援します。

従業員がより生産的に、より効果的に、より創造的に働ける環境を整えて、職場エクスペリエンスを強化できるよう、ご要望に合わせた Copilot 導入を迅速にサポートします。

Copilot の導入に向けてどのような備えが必要か、そして、組織にどのような変革をもたらすのかについては下記をご覧ください。

Copilot は、従業員エクスペリエンスを強化します。

[詳細を確認する](#)

生成 AI が職場にもたらす ヒューマン インパクト

アバナードについて

アバナード株式会社

〒106-6009 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー

電話番号 : 03-6234-0150

ウェブサイト : <https://www.avanade.com/ja-jp>

お問い合わせ : <https://www.avanade.com/ja-jp/contact>

アバナードは、マイクロソフトのエコシステムの力で、デジタル、クラウド サービス、ビジネス ソリューション、デザイン主導のエクスペリエンスを実現するリーディング プロバイダーです。アクセンチュアとともに、マイクロソフトのグローバル SI パートナー オブ ザ イヤーの最多受賞企業として認められているアバナードでは、マイクロソフト テクノロジーの認定資格者を最も多く有し (60,000 以上)、18 分野中すべての分野でマイクロソフト Gold コンピテンシーを取得して、企業の成長と解決が最も困難な課題への挑戦を支援する独自の地位を確立しています。アバナードは、人とマイクロソフトの力で持続可能な世界の構築を約束する責任ある企業です。環境、社会、ガバナンスの目標に責任を持って取り組み、長期的かつ持続可能なビジネスを保証しています。世界 28 カ国に擁する 6 万人のプロフェッショナルがそれぞれの多様なバックグラウンドを活かし、お客様、従業員、顧客企業に日々真のヒューマン インパクトをもたらしています。詳細については、<https://avanade.com/ja-jp/> をご覧ください。